

トイレを通じて 1 億人の衛生環境の改善を目指す ～ SATO が取り組むグローバルな衛生課題の解決



講師 下條 彰仁 氏

岐阜県出身。2017年4月LIXIL入社後、LIXIL Water Technology Japan セールスにてトイレやキッチン等の水回り商品を担当後、2023年4月よりSATO事業部 Bangladesh and Southeast Asia に配属、主にフィリピン、インドネシアでのセールス活動、現地パートナーとの関係構築、日本国内のステークホルダー (NGO, 各団体等) とのパートナーシップ拡大を推進。

「SATO」を知っていますか? 「SATO」はシンプルなプラスチックのトイレ。ですが、カウンターウエイト式の弁が付いていることにより、病原菌を媒介する虫や悪臭を低減します。「SATO」事業はバングラデシュから始まり、各地の文化や生活様式に応じて形状を進化させながら、今では世界中で45ヶ国、約750万台が出荷され、4,500万人の衛生課題を改善しています。SDGsの諸課題に取り組む専門家の皆さんをお呼びし、経緯・現状・最新の動向などについてご紹介いただくSDGsセミナー、今回は、株式会社LIXIL SATO事業部 Bangladesh and Southeast Asia の下條 彰仁氏より、同社が世界で展開するSATO事業についてお話しいただきます。ご関心のある一般の方もご参加いただけます (事前申込制)。是非お気軽にご参加ください。(※本セミナーは全学共通科目「平和と共生演習」の公開講座を兼ねるため、履修生は申込不要です)。

要事前申込 (5/7 まで)



こちらからお申込みください

5月8日 水 16:40 ~ 18:10

会場：国際交流留学生プラザ 2階多目的ホール

対象：お茶の水女子大学学生・関係者、関心のある一般の方

【後援】お茶の水女子大学 SDGs 推進研究所

【お問合せ】お茶の水女子大学グローバル協力センター info-cwed@cc.ocha.ac.jp

【詳細 URL】<https://www.cf.ocha.ac.jp/cwed/event/e20240508.html>



詳細はこちら